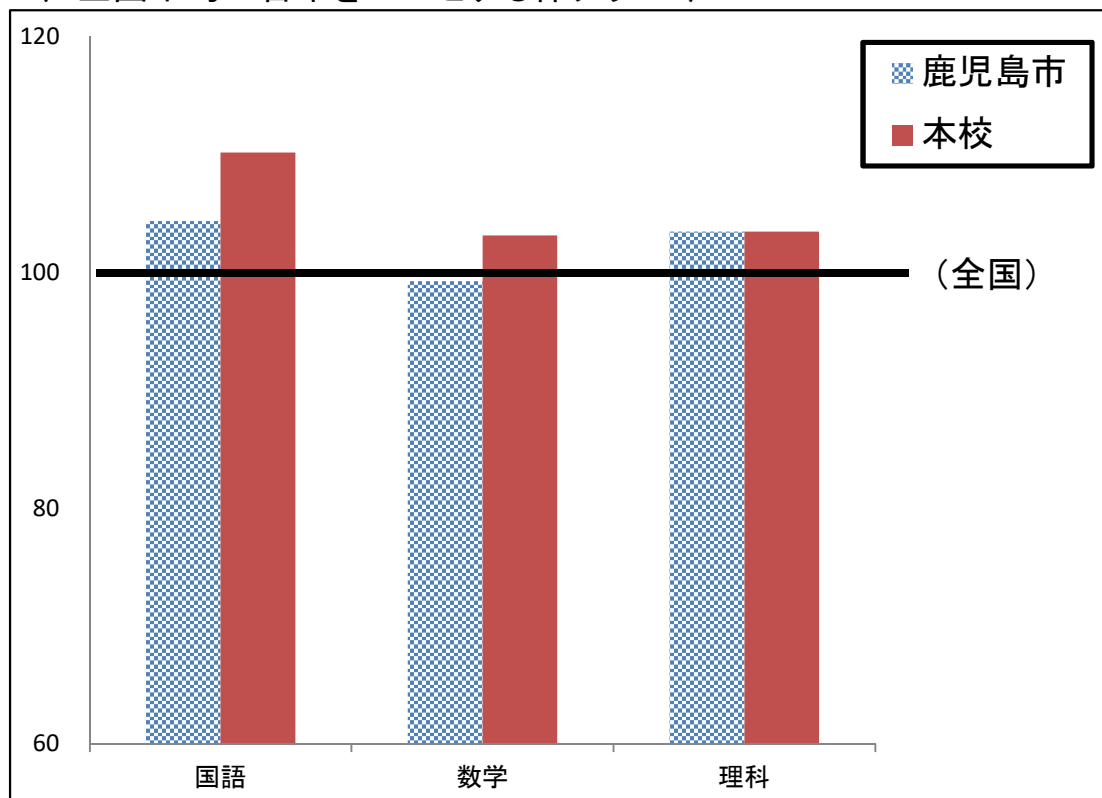


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

明和中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

<国語>

全ての問題において本市の平均値、全国の平均値を上回っていますが、「資料の情報を引用し書く」ことについては課題として今後取組む必要があります。そのために、課題作文等の取組を通して、資料の読み取りや根拠を明らかにした自分の考えをまとめる練習や目的に応じた文章を書く活動、よりよい作品にするために、ペアやグループでの検討、言語に関する基本事項の復習を行っていきたいと考えています。

<数学>

本市の平均値、全国の平均値を上回っていますが、「関数」については、課題があります。これからもICT機器を活用し、表やグラフで視覚的に理解し、生徒同士で学び合える機会を設けていきたいです。また、「(既習内容の)何を使って」「どのような考えで」解くのか、生徒が問いをもって臨める授業を展開していきたいと考えています。

<理科>

全国正答率を上回っていますが、鹿児島市平均と同等です。正答率が3割を下回ったのは、気象データの読み取り(地学)問題、力のつり合いと作図(物理)の問題でした。分野ごとにみると、生物分野以外は苦手な単元等があるといえます。身につけさせたい学力としては、グラフやデータから情報を読み取り、それをもとに考察する力、目に見えない事象や粒子をモデルや作図で考える力等です。前者に対しては、グループでの協議時間を設定することで、後者に対しては、動画資料や教材教具を活用することで補っていきたいと考えています。

<全体的に>

生徒質問紙の結果より本校の生徒は、規範意識が高く、また学校生活への適応や学級での人間関係は良好な傾向にあることがわかりました。「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること」ができています。また、「人の役に立つ人間になりたいと思う」生徒が大変多いです。このような本校生徒の良さを生かして、話し合い活動や対話的な学習の充実を図り、学力の向上に努めたいと思います。